



2026年度 明治大学大学院 理工学研究科 学生募集要項 (Ⅰ期・Ⅱ期)

問 合 せ 先	明治大学理工学部事務室大学院入試係
所 在 地	〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1 - 1 - 1
ウ ェ ブ サ イ ト	https://www.meiji.ac.jp/sst/grad/index.html
メ ー ル	sst@mics.meiji.ac.jp
電 話	044-934-7600
F A X	044-934-7901
受 付 時 間	平日※ 9:00～11:30、12:30～16:30 土曜 9:00～12:00 ※8月1日～9月19日は取扱時間が異なります 9:30～11:30、12:30～16:00 【以下は事務取扱なし】 日曜、祝日、大学の定める休日、 8月1日～9月19日の土日、8月10日～16日

各種留意事項

個人情報取扱について

出願及び入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、「学校法人明治大学個人情報保護方針」および「個人情報の保護に関する規程」に基づき、入学試験、合格発表、入学手続およびこれらに付随する事項を行うために利用します。なお、これらの業務の一部を明治大学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、提出していただいた個人情報を、委託業者に提供することがあります。また、個人が特定されないように統計処理した情報を、明治大学における入学者選抜及び教育改善のための調査に利用します。あらかじめご了承ください。

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

受験および修学における配慮について

心身等に障がい（聴覚障がい、視覚障がい、肢体不自由、発達障がい、病弱等）があり、受験及び修学上配慮を希望する方は、受験生からの申請に基づき審査のうえ、障がいや疾病等の程度に応じた措置を講じます。出願締切日の1か月前までに必ず理工学部事務室大学院入試係に問い合わせてください。明治大学では、「明治大学障がい学生支援基本方針」に基づき、支援を行っています。支援内容について、ご不明点等がある場合は、障がい学生支援室（TEL:03-3296-4131、MAIL:sgg_sien@meiji.ac.jp）にご連絡ください。

目 次

Page 記載事項

- 4 | 理工学研究科 3 つのポリシー/人材養成その他教育研究上の目的
- 10 | 入学定員等
- 11 | 出願資格
- 18 | 試験日程等
- 19 | 選考方法
- 23 | 出願書類
- 26 | 出願書類の記入方法等
- 41 | 入学検定料の納入
- 46 | 入学手続
- 47 | ビザ（査証）
- 49 | 入学金・学費/奨学金/明治大学教育振興協力資金
- 50 | 交通案内

理工学研究科 3つのポリシー【博士前期課程】

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）について

理工学研究科では、自然の法則と数理の仕組みを理解し、そこから創出される科学技術によって人類の継続的な発展と幸福に貢献する、人間性豊かな高度専門職業人と研究者の養成を目的としています。

自然科学や人文・社会分野における基礎的な教養を身につけた、論理的な思考力と強い探究心をもって理工学の発展に寄与することを希望する意欲ある学生を受け入れます。

上記の学生像に基づき、学内選考入学試験、一般入学試験、外国人留学生入学試験、社会人特別入学試験および飛び入学試験を実施し、入学者の選抜を行います。

なお、入学者の修得しておくべき知識等の内容と水準を以下の通りとします。

- (1) 入学を希望する専攻の学問体系を習得するための基礎学力を備えていること。
- (2) 研究活動に必要なコミュニケーション能力および語学力を身につけていること。

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）について

理工学研究科では、自然の法則と数理の仕組みを理解し、そこから創出される科学技術によって、人類の継続的な発展と幸福に貢献する、人間性豊かな高度専門職業人と研究者を養成することを目的としています。この教育目標を達成するために、以下に示す方針に基づきカリキュラムを編成しています。

（工学）

大学院生は、所属専攻の主要科目の中から専門分野（工学系）の専修科目を選定し、指導教員による研究指導のもとで研究課題に取り組むことにより、科学的な思考能力と、自ら問題を発見しそれを自らの発想で解決できる能力、およびその方法論を身につける。

各専攻に設置した科学技術に関する特修科目により、当該分野における専門的な学力が修得できる。さらに、全専攻に共通する広域的なテーマや学際領域に関わる授業科目をバランスよく履修することで、科学技術を実社会との関わりの中で捉える広い視野と、境界領域や新しい分野をも開拓しうる柔軟性を育成することができる。

（理学）

大学院生は、所属専攻の主要科目の中から専門分野（理学系）の専修科目を選定し、指導教員による研究指導のもとで研究課題に取り組むことにより、科学的な思考能力と、自ら問題を発見しそれを自らの発想で解決できる能力、およびその方法論を身につける。

各専攻に設置した自然科学に関する特修科目により、当該分野における深い専門的な学力が修得できる。さらに、全専攻に共通する広域的なテーマや学際領域に関わる授業科目をバランスよく履修することで、自然科学を社会との関わりの中で捉える広い視野と、境界領域や新しい分野をも開拓しうる柔軟性を育成することができる。

（建築学）

大学院生は、建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系の主要科目の中から専門分野の専修科目を選定し、指導教員による研究指導のもとで研究課題に取り組むことにより、科学的な思考能力及び国際的に通用する実践的能力と、自ら問題を発見しそれを自らの発想で解決できる能力、およびその方法論を身につける。

建築・都市学専攻に設置した特修科目により、建築の特定領域における高度で専門的な学力が修得できる。さらに、全専攻に共通する広域的なテーマや学際領域に関わる授業科目をバランスよく履修することで、科学技術を社会との関わりの中で捉える広い視野と、境界領域や新しい分野をも開拓しうる柔軟性を育成することができる。

（学術）

大学院生は、所属専攻の主要科目の中から分野横断的かつ学際的な専門分野の専修科目を選定し、指導教員による研究指導のもとで研究課題に取り組むことにより、科学的な思考能力と、自ら問題を発見しそれを自らの発想で解決できる能力、およびその方法論を身につける。

各専攻に設置した科学技術に関する特修科目により、当該分野における専門的な学力が修得できる。さらに、全専攻に共通する広域的なテーマや学際領域に関わる授業科目をバランスよく履修することで、科学技術を社会との関わりの中で捉える広い視野と、境界領域や新しい分野をも開拓しうる柔軟性を育成することができる。

| 理工学研究科 3つのポリシー【博士前期課程】

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）について

理工学研究科では、自然の法則と数理の仕組みを理解し、そこから創出される科学技術によって、人類の継続的な発展と幸福に貢献する、人間性豊かな高度専門職業人と研究者を養成することを目的としています。

上記の目的を踏まえ、本研究科の定める修了要件を満たし、かつ、学業成績ならびに学位論文審査の結果から、以下に示す資質や能力を備えていると認められる者に対し、修士（工学、理学、建築学または学術）の学位を授与します。

（工学）

- (1) 科学技術とその実社会応用についての広範な学識と専門分野（工学）における十分な学力を身につけていること。
- (2) 論理的な思考力と問題を自ら発見し解決する能力を備えていること。

（理学）

- (1) 自然科学についての広範で深い学識と専門分野（理学）における十分な学力を身につけていること。
- (2) 論理的な思考力と問題を自ら発見し解決する能力を備えていること。

（建築学）

- (1) 科学技術についての広範な学識と専門分野（建築学）における十分な学力を身につけていること。
- (2) 論理的な思考力と問題を自ら発見し解決する能力に加えて国際的環境における建築・都市デザインの実践に必要な外国語コミュニケーション能力を備えていること。

（学術）

- (1) 分野横断的な学識と専門分野（学際領域等）における十分な学力を身につけていること。
- (2) 論理的な思考力と問題を自ら発見し解決する能力を備えていること。

| 理工学研究科 3つのポリシー【博士後期課程】

入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）について

理工学研究科では、自然の法則と数理の仕組みを理解し、そこから創出される科学技術によって人類の継続的な発展と幸福に貢献する、自立した研究者と高度専門職業人の養成を目的としています。

この目的を踏まえ、専門分野の研究活動を深化させる強い探究心を備え、自ら課題を発見し、それを積極的に解決していく意欲に溢れる学生を受け入れます。

上記の学生像に基づき、学内選考入学試験、一般入学試験、外国人留学生入学試験、社会人特別入学試験を実施し、入学者の選抜を行います。

なお、入学者の修得しておくべき知識等の内容と水準を以下の通りとします。

- (1) 博士前期課程の教育・研究を通して、専門分野において研究を遂行できる十分な学力を身につけており、論理的に思考する能力をもっていること。
- (2) 国際会議やシンポジウム等において、研究活動の成果を発表するだけでなく、国内外の研究者と議論のできる語学力とコミュニケーション能力を身につけていること。

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）について

理工学研究科では、自然の法則と数理の仕組みを理解し、そこから創出される科学技術によって人類の継続的な発展と幸福に貢献する、自立した研究者と高度専門職業人の養成を目的としています。

（工学）

博士後期課程に在籍する大学院生は指導教員による研究指導のもとに専門分野（工学）における研究課題に取り組み、博士学位論文の完成を目指す。大学院生自らが主体的に科学技術に関する研究テーマの設定、研究計画の立案と遂行、研究成果の発信を行い、コースワークにより専門分野（工学）における学識を深めるとともに、論理的な思考力、的確に問題点を把握し解決する能力を伸ばす。

（理学）

博士後期課程に在籍する大学院生は指導教員による研究指導のもとに専門分野（理学）における研究課題に取り組み、博士学位論文の完成を目指す。大学院生自らが主体的に自然科学に関する研究テーマの設定、研究計画の立案と遂行研究成果の発信を行い、コースワークにより専門分野（理学）における学識を深めるとともに、論理的な思考力、的確に問題点を把握し解決する能力を伸ばす。

（建築学）

博士後期課程に在籍する大学院生は指導教員による研究指導のもとに専門分野（建築学）における研究課題に取り組み、博士学位論文の完成を目指す。大学院生自らが主体的に研究テーマの設定、研究計画の立案と遂行、研究成果の発信を行い、コースワークにより専門分野（建築学）における学識を深めるとともに、論理的な思考力、的確に問題点を把握し解決する能力を伸ばす。

（学術）

博士後期課程に在籍する大学院生は指導教員による研究指導のもとに専門分野（学際領域）における研究課題に取り組み、博士学位論文の完成を目指す。大学院生自らが主体的に研究テーマの設定、研究計画の立案と遂行、研究成果の発信を行い、コースワークにより専門分野（学際領域）における学識を深めるとともに、論理的な思考力、的確に問題点を把握し解決する能力を伸ばす。

| 理工学研究科 3つのポリシー【博士後期課程】

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）について

理工学研究科では、自然の法則と数理の仕組みを理解し、そこから創出される科学技術によって人類の継続的な発展と幸福に貢献する、自立した研究者と高度専門職業人の養成を目的としています。

そこで、博士後期課程では、上記の教育目的を踏まえ、本研究科の定める博士学位請求の要件を満たし、かつ、学位請求論文審査の結果から、以下に示す資質や能力を備えていると認められる者に対し、博士（工学、理学、建築学または学術）の学位を授与します。

（工学）

- (1) 研究テーマの設定から実社会への還元を視野に入れた成果の発信に至る研究活動を自ら遂行する能力を有していること。
- (2) 自立した研究者、高度専門職業人に必要な専門的な研究能力とその基礎となる工学分野における豊かな学識、及びそれに基づき新たな価値を創造できる能力を備えていること。

（理学）

- (1) 研究テーマの設定から成果の発信に至る研究活動を自ら遂行する能力を有していること。
- (2) 自立した研究者、高度専門職業人に必要な専門的な研究能力とその基礎となる理学分野における豊かな学識、及びそれに基づく成果を社会に還元し自然科学の進展に貢献する能力を備えていること。

（建築学）

- (1) 研究テーマの設定から成果の発信に至る研究活動を自ら遂行する能力を有していること。
- (2) 自立した研究者、高度専門職業人に必要な専門的な研究能力とその基礎となる建築学分野における豊かな学識、及び新たな価値を創出し国際社会における先導的役割を担える能力を備えていること。

（学術）

- (1) 研究テーマの設定から成果の発信に至る研究活動を自ら遂行する能力を有していること。
- (2) 自立した研究者、高度専門職業人に必要な専門的な研究能力とその基礎となる学際領域における広く豊かな学識を備えていること。

| 理工学研究科 人材養成その他教育研究上の目的

理工学研究科では、自然の法則と数理の構造を理解し、それらを応用して、人類が継続的に発展し、幸せに生きることを実現する、すなわち、理と工の融合を目指して教育・研究活動を行っている。この目的達成のため、応用を考慮した基礎科目と基礎理論に基づいた応用科目、そして広範な分野への適用を考慮した境界領域科目の設置をカリキュラムの基本方針とし、科学技術のみならず、社会・人文科学分野等において領域横断的に活躍ができ、時代の変化とともに新たな分野に積極的に挑戦し、さらには国際的に通用する実力を身につけた、人間性豊かな研究者と高度専門職業人の養成を目標とする。

【電気工学専攻】

電気工学専攻では、電気工学の専門知識を土台に電気工学にかかわる特修科目を修得し、科学的センスと創造性を身につけた高度に専門性の高い技術者として広い分野において指導的立場で活躍が期待できる「個」の確立した人材の育成を目指す。幅広い視野に立って電気工学を土台に理学、工学を融合した高度に専門性の高い研究・教育を行い、多様化と専門化が求められている現状に即した電気工学系研究者・技術者を養成する。

博士前期課程では、電気工学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた電気系技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程までに身につけた知識・技術に加え、分野横断的な教養に基づいて新たな価値を創造し、未来を牽引する先導的かつ指導的な技術者・研究者を育成する。

【機械工学専攻】

機械工学専攻では、幅広い機械工学の各分野及びその関連分野を有機的に結びつけることで、社会の要請に応じた新たな技術・システムの実現に寄与することを目指す。このために、高度な専門知識・創造力と高い倫理観・使命感を基に自ら考え行動でき、国際性に富んだ機械系技術者・研究者を育成するとともに、機械工学分野の深化・拡張・発展に資する研究を実施し、研究成果と教育力を社会に還元することを目的としている。

博士前期課程では、機械工学に係る広い知識及び高度な技術を身につけた機械系技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程までに身につけた知識・技術に加え、分野横断的な教養に基づいて新たな価値を創造し、未来を牽引する先導的かつ指導的な技術者・研究者を育成する。

【建築・都市学専攻】

建築・都市学専攻では、建築・都市を中心とする空間環境の創造・再生を多様な立場で担い、国際的視野に立って人間を取り巻く環境・社会・文化の持続可能な発展に貢献できる人材の育成を目指す。この人材養成の目的を達成するため、確固たる建築学術の体系を踏まえた総合性・横断性・革新性を支える教育研究基盤の確立、国際的環境で通用する建築・都市デザインのプロフェッショナルの育成、環境創造の基礎となる芸術・文化的教養の再定義が肝要である。これを踏まえて、本専攻に、建築学系、国際建築都市デザイン系及び総合芸術系を置く。

（建築学系）

建築学系では、確固たる建築学術の体系を踏まえつつ、横断性・総合性・革新性をもって人間環境の持続的発展に貢献できる人材の育成を目指す。安心・安全かつ快適な自然環境と調和した社会の持続を、空間環境の創造という側面から実現していくことを究極的な目的とし、確固たる体系に基づいた教育研究により、社会的に信頼される技術者や研究者を養成する。

博士前期課程では、歴史・意匠・計画、建築構造・材料及び建築環境・設備にかかわる高度な知識と先端技術を有する研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、独創的・先端的な研究・開発と実社会での指導的役割を担う研究者・教育者を育成する。

（国際建築都市デザイン系）

国際建築都市デザイン系では、国際的環境で通用する建築・都市デザインのプロフェッショナル、特に国際的環境において建築・都市の創造・再生を実践的に担えるプランナーやデザイナーを育成する。

博士前期課程では、国際的な環境における建築デザイン・都市デザインの実践に必要な知識、語学力及び技能を有する研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った専門性を一層高め、国際社会での先導的役割を担う研究者・教育者・実務家を育成する。

〔総合芸術系〕

総合芸術系では、芸術文化の歴史と現在に対する洞察と、自然と社会の環境への適切な配慮を、創造的な研究へとつなげていくことのできる人材を育成する。

博士前期課程では、特定の芸術分野における深い知識と、分野を横断する広い知識を併せ持つ研究者・教育者・作家を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で培った研究の専門性を一層高め、各芸術分野においてより先導的役割を担う人材を育成する。

〔応用化学専攻〕

応用化学専攻では、基礎から高度な応用まで幅広い視野と独創性を持った科学者・技術者の育成を目指す。そのために、化学の基礎から境界領域を含めた幅広い応用研究までを対象とし、理学・工学両面から思考するために必要な教育と研究を行う。

博士前期課程では、化学産業のニーズに即戦力として応えうる応用技術研究のみならず、基礎化学も含めた広範な分野にわたる知識を有する研究者又は技術者を育成する。博士後期課程では、博士前期課程で養った能力を生かし、新たな分野の発想力・発想を実現する計画の実行力を兼ね備えた将来の化学技術の発展を担いうる斬新で柔軟な発想を持つ研究者を育成する。

〔情報科学専攻〕

情報科学専攻では、時代を切り開く豊かな創造力と柔らかな思考力の育成を目指す。変化の激しい時代に対応できる問題発見能力と解決能力を身につけさせるため、基礎的な力を更に強化した上で、専門領域に関する実践的で高度な内容の教育を行う。また、国際性豊かな創造力と幅広い視野を持つ情報科学の専門家の育成を行う。研究を通し、その専門領域での研究開発能力を身につけ、有用で新規性のある研究成果や作品を国内外に発信する。

博士前期課程では、情報科学の高度な理論を理解し、それを実際のシステムの開発や運用に活用できる人材を育成する。博士後期課程では、情報科学の高度な理論を新規に作り出し、それを応用したシステムを構築できる独立した研究者又は高度な専門性を有する開発者を育成する。

〔数学専攻〕

数学専攻における人材養成の目的には、数学を「使う」、「創る」及び「伝える」という3つの側面がある。特に大学院教育においては、上記のいずれか1つではなくすべてが、互いに無関係のものとしてではなく、密接に結びついた形で、人材養成の目的に寄与するよう学生の指導を行う。

博士前期課程では、学生が数学を含む科学技術全体を鳥瞰する独自の観点を構築し、それを修了後の社会的活動の礎とするべく、数学を使い、創り、伝える能力を養成する。また、博士後期課程では、数学を「創る」側面に重点を置き、その成果が社会に還元されるよう特段の努力を払うように学生を導く。

〔物理学専攻〕

物理学専攻では、自然法則の理解に裏打ちされた正しい自然観を備え、あらゆる場面でその根本原理に基づいて現象を演繹的に理解しようとする物理的思考ができる人材の育成を目指す。

博士前期課程では、物理学の知見や論理的な思考方法を生かして、社会に貢献できる研究者又は高度専門職業人を育成する。博士後期課程では、主体的に物理学の研究を推進し、その成果をもって自然科学の進展に貢献しうる研究者の育成を目指す。

| 入学定員等

専攻	前期課程 入学定員	前期課程 研究科コード	後期課程 入学定員	後期課程 研究科コード
電気工学	82	451R	6	551R
機械工学	86	452R	7	552R
建築・都市学	80	4535	7	5535
応用化学	40	454R	5	554R
情報科学	40	4555	3	5555
数学	15	4565	3	5565
物理学	16	4575	3	5575

※入学定員は、年度内に実施する全入学試験の募集人員総数を示しています。

| 出願資格 【博士前期課程】

1 一般入学試験

以下の①から⑨のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び2026年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2026年3月31日までに学士の学位を授与される見込みの者
- ③ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- ⑤ 日本国内において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに学位を授与される見込みの者
- ⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者
- ⑧ 文部科学大臣が指定した者（注1）⇒「出願資格の注意事項 【博士前期課程】」を参照
- ⑨ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者（注1）⇒「出願資格の注意事項 【博士前期課程】」を参照

2 社会人特別入学試験

理工学研究科では、開かれた大学として社会の要請に応え、社会人（有職者）の方々を、（在職のまま）正規の学生として受け入れています

博士前期課程一般入学試験の出願資格のうち①から⑨のいずれかを有する者で、(ア)又は(イ)の条件を満たす者

（ア）企業、教育機関、官公庁等に2年以上在職し、かつ、所属長の承諾書を提出できる者

（イ）企業、教育機関、官公庁等に3年以上在職した経験を持ち、2026年3月31日までに25歳に達する者で、志望する指導教員の推薦書及び在職期間を証明できる書類を提出できる者

| 出願資格 【博士前期課程】

3 外国人留学生入学試験

1. 日本在住者の出願は、進学又は勉学を目的とし、「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」等を取得又は更新できる者でなければなりません
2. 日本国外からの出願は、明治大学大学院が発行する「受験許可証」（「ビザ（査証）」を参照）によってビザ（査証）を取得する等、所定の期日までに日本に入国できる者でなければなりません

日本国以外の国籍を有し、初等・中等教育における全ての課程を外国の教育機関で修了した者で、以下①～④のいずれかに該当する者

- ① 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2026年3月31日までに修了見込みの者（注1）⇒「出願資格の注意事項 【博士前期課程】」を参照
- ② 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに学位が授与される見込みの者
- ③ 日本において、外国人留学生として日本の大学を卒業した者及び2026年3月31日までに卒業見込みの者
- ④ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに22歳に達する者（注1）⇒「出願資格の注意事項 【博士前期課程】」を参照

※ 初等・中等教育の一部を日本国内で修学したことがある場合、出願資格が認められる場合があります。出願資格について不明な点がある場合には、必ず事前に出願資格の審査を受けてください

【試験区分】（建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系のみ）

区 分	出 願 条 件
A方式 本学受験方式	1. 出願時点において、日本国内に住民登録をし、在住している者。 または 2. 出願時点において、日本国内に住民登録をしておらず、日本国外に在住している者のうち、現在の所属機関の担当教員等による2通の推薦書を得ることが困難な者。
B方式 渡日前方式	出願時点において、日本国内に住民登録をしておらず、日本国外に在住し、本学における入学試験を受験することが困難な者で、現在の所属機関の担当教員等による推薦書（博士前期課程博士前期課程建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系志願者は2通）を得られる者。

| 出願資格 【博士前期課程】

4 飛び入学試験

理工学研究科では、博士学位の取得を目指す者のうち、特に優れた資質を有する者に、早期から大学院教育の道を開くことを目的とする飛び入学試験制度を実施しています

明治大学大学院理工学研究科博士後期課程への進学を強く希望する者で、次の①又は②、及び各専攻の定める出願資格を有する者

- ① 大学に3年以上在学し、本研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（注1）⇒「出願資格の注意事項 【博士前期課程】」を参照
- ② 外国において、学校教育における15年の課程を修了し、本研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者（注1）⇒「出願資格の注意事項 【博士前期課程】」を参照

※合格後、入学するためには各専攻の定める入学資格を満たす必要があります

【各専攻の飛び入学試験出願資格及び入学資格】

※次の表に記載のない専攻は、飛び入学試験を実施しません

専攻	出願資格 (次の条件を全て満たす者)	入学資格 (飛び入学試験に合格した者でも、3年次修了時点において、次の要件を満たさない者については、入学を許可しません。)
電気工学	ア. 出願時において、専攻に対応する学科の3年次に在学中の者 イ. 所属する大学のゼミ担当者または学科長等の推薦書を提出できる者	ア. 所属学科における成績順位が上位3%以内にある者 イ. 学部3年次までの成績証明書を、入学手続き締切日の前々日までに、提出できる者
情報科学	ア. 出願時において、専攻に対応する学科の3年次に在学中の者 イ. それぞれの所属学科における成績順位が上位5%以内にある者 ウ. 他大学に在学中の志願者については、当該学科長またはそれに準ずる者による志願者の成績に関する証明文書及び責任ある教員の推薦書を提出できる者	ア. 所属学科における成績順位が、上位5%以内にある者 イ. 学部3年次までの成績証明書を、入学手続き締切日の前々日までに、提出できる者

| 出願資格の注意事項 【博士前期課程】

(注1)

出願資格のうち、一般入学試験の⑧あるいは⑨、外国人留学生入学試験の①で「学士」の学位またはその上位に相当する学位を有していない者あるいは④、飛び入学試験のいずれかに該当し、受験を希望する場合は、出願資格審査を行います。事前に理工学部事務室大学院係まで申し出たうえで、出願資格審査申請書書式を理工学研究科ウェブサイト等から入手し、期日までに下記の全ての必要書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留にするため、入学検定料は納入しないでください

【期日】（いずれも必着）

I 期：2025年4月15日（火）

II 期：2025年10月15日（水）※

※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系 II 期出願希望者は、2025年8月26日（火）

【出願資格審査に必要な書類】

- ①「出願資格審査申請書」（本学の指定様式）
- ②通常の出願書類一式
- ③その他研究科が必要と認める書類

| 出願資格 【博士後期課程】

1 一般入学試験

以下の①から⑧のいずれかに該当する者

- ① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- ② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- ④ 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- ⑥ 外国の学校、④の教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者（注1）⇒「出願資格の注意事項」を参照
- ⑦ 文部科学大臣が指定した者（注1）（注2）⇒「出願資格の注意事項」を参照
- ⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに24歳に達する者（注1）（注2）⇒「出願資格の注意事項」を参照

2 社会人特別入学試験

理工学研究科では、開かれた大学として社会の要請に応え、社会人（有職者）の方々を、（在職のまま）正規の学生として受け入れています

博士前期課程一般入学試験博士後期課程の出願資格のうち①から⑧のいずれかを有する者で、（ア）又は（イ）の条件を満たす者

- （ア）企業、教育機関、官公庁等に在職し、特定の専門領域に関して適切かつ明確なテーマを持ち、かつ、所属長の承諾書を提出できる者
- （イ）企業、教育機関、官公庁等に5年以上在職した経験を持ち、2026年3月31日までに27歳に達する者で、志望する指導教員の推薦書及び在職期間を証明できる書類を提出できる者

| 出願資格 【博士後期課程】

3 外国人留学生入学試験

1. 日本在住者の出願は、進学又は勉学を目的とし、「出入国管理及び難民認定法」による在留資格「留学」等を取得又は更新できる者でなければなりません
2. 日本国外からの出願は、明治大学大学院が発行する「受験許可証」（「ビザ（査証）」を参照）によってビザ（査証）を取得し、所定の期日までに日本に入国できる者でなければなりません

日本国以外の国籍を有し、初等・中等教育における全ての課程を外国の教育機関で修了した者で、以下①～③のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業し学士の学位（これに相当する学位を含む。）を授与され、外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- ② 大学を卒業し学士の学位（これに相当する学位を含む。）を授与され、日本の大学院において外国人留学生として修士の学位又は専門職学位を授与された者及び2026年3月31日までに授与される見込みの者
- ③ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2026年3月31日までに24歳に達する者（注1）（注2）

※ 初等・中等教育の一部を日本国内で修学したことがある場合、出願資格が認められる場合があります。出願資格について不明な点がある場合には、必ず事前に出願資格の審査を受けてください

| 出願資格の注意事項 【博士後期課程】

(注1)

出願資格のうち、一般入学試験の⑥、⑦あるいは⑧、外国人留学生入学試験の③のいずれかに該当し、受験を希望する場合は、出願資格審査を行います。事前に理工学部事務室大学院係まで申し出たうえで、出願資格審査申請書書式を理工学研究科ウェブサイト等から入手し、期日までに下記の全ての必要書類を提出してください。なお、出願資格審査が終了するまで受理を保留にするため、入学検定料は納入しないでください

【期日】（いずれも必着）

I 期：2025年4月15日（火）

II 期：2025年10月15日（水）※

※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系 II 期出願希望者は、2025年8月26日（火）

【出願資格審査に必要な書類】

- ①「出願資格審査申請書」（本学の指定様式）
- ②通常の出願書類一式
- ③その他研究科が必要と認める書類

(注2)

大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有するものと同等以上の学力があると認めた者。あるいは、外国において学校教育における16年の課程を修了した後、または外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者

試験日程等

筆記試験及び口頭試問は、明治大学生田キャンパスで実施します。試験時間割は「選考方法」の項目を参照してください。また、試験当日の集合時間・場所・スケジュール等の詳細は、受験票送付時に通知します。

●日程（建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系以外）

入試期	入 試 種 別	入 学 検 定 料 納 入 期 間	出 願 期 間	受 験 [※] - 外 携 [※] 連 携 期 間	試 験 日	合 格 発 表 日 時
I 期	一 般 外 国 人 留 学 生 社 会 人 特 別	2025/5/1 (木) ～ 6/10(火)	2025/6/5(木) ～ 6/10(火)	受験票到着～ 試験日前日まで	2025/7/19 (土)	2025/8/1 (金)13時
II 期	一 般 外 国 人 留 学 生 社 会 人 特 別 飛 び 入 試 ※	2025/10/1(水) ～ 12/9(火)	2025/12/1(月) ～ 12/9(火)		2026/2/25 (水)	2026/2/27 (金)13時

※博士前期課程のみ

●日程（建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系）

入試期	入 試 種 別	入 学 検 定 料 納 入 期 間	出 願 期 間	受 験 [※] - 外 携 [※] 連 携 期 間	試 験 日	合 格 発 表 日 時
I 期	一 般 外 国 人 留 学 生 (A 方 式 ※)	2025/5/1 (木) ～ 6/10(火)	2025/6/5(木) ～ 6/10(火)	受験票到着～ 試験日前日まで	2025/7/19 (土)	2025/8/1 (金)13時
	社 会 人 特 別 外 国 人 留 学 生 (B 方 式 ※)			受験票到着～ 合格発表日前日まで	書類選考 のみ	
II 期	一 般 外 国 人 留 学 生 (A 方 式 ※)	2025/9/20(土) ～ 10/17(金)	2025/10/14(火) ～ 10/17(金)	受験票到着～ 試験日前日まで	2026/2/25 (水)	2026/2/27 (金)13時
	社 会 人 特 別 外 国 人 留 学 生 (B 方 式 ※)			受験票到着～ 合格発表日前日まで	書類選考 のみ	B方式 2025/12/9 (火)13時

※外国人留学生A方式及びB方式は、博士前期課程志願者のみ対象の区分です。外国人留学生B方式は、日本以外の国籍を有し、出願時点で日本国外に在住している（日本国内に住民登録のない）志願者で、試験のために来日することができない方が対象です。日本国内在住者はA方式に出願してください。また、日本国外に在住している方は、A方式に出願することも可能ですが、B方式と併願することはできません。

1. 合格発表は受験ポータルサイト「UCARO（ウカロ）」で行います。受験票到着後、上記期間内に別紙「理工学研究科入学試験 合格発表・入学手続について」に従い、会員登録及び出願連携を行ってください。※掲示や郵送又は電話での合格発表は行いません。
2. 試験当日の集合時刻等は、各志願者に受験票とともに郵送で通知します。
3. 試験日の1週間前までに受験票が届かない場合は問い合わせてください。
4. 遅刻は、試験開始後30分まで認めます。試験開始時刻は受験票とともに送付される通知を確認してください。遅刻による試験時間延長措置はありません。30分経過後は、受験を認めません。
5. 交通機関の混乱等、不測の事態により入学試験の実施に変更がある場合や、入学試験に関する重要なお知らせがある場合には、理工学研究科ウェブサイトまたはUCAROを通じてお知らせします。
- ◆ 不正行為があるとみなされた場合は、当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、これ以降の当該年度における本学の入学試験の出願・受験も認めません。なお、この取扱いに伴う入学検定料の返還は行いません。
- ◆ 卒業（修了）見込みの者が卒業・修了できなかった場合（指定された期日までに卒業・修了証明書や学位取得証明書の提出が無い場合）、試験に合格しても入学を認めません。また、出願書類の記載事項等に虚偽があることが判明した場合、合格・入学を取り消します。

選考方法 【博士前期課程】

● 一般・外国人留学生・社会人特別入学試験・飛び入学試験※共通

※飛び入学試験は、情報科学専攻のみ筆記試験を実施します。

筆記試験、口頭試問、書類選考により可否を判定します。

専攻（系）	時間 1時限（120分） 9：00～11：00	2時限	午後
電気工学専攻	基礎科目・専門科目 （配点200点） ＊出題範囲は専攻によって異なる、「基礎科目・専門科目」出題範囲を参照。	英語 （注1）	口頭試問 （注2）
機械工学専攻			
建築・都市学専攻			
建築学系			
応用化学専攻			
情報科学専攻			
数学専攻			
物理学専攻			
専攻（系）	時間 1時限（90分） 9：00～10：30	2時限	午後
建築・都市学専攻 総合芸術系	小論文（注3） （配点100点）	英語 （注1）	口頭試問 （注2）（注4）
専攻（系）	時間 1時限	2時限	午後
建築・都市学専攻 国際建築都市デザイン系 （B方式を除く）	筆記試験は実施しません （ただし、外部英語試験スコア（TOEIC®L&R/TOEFL iBT®/IELTS™（アカデミック・モジュール））を提出してください）		口頭試問 （注2）（注5）
（B方式のみ）	筆記試験・口頭試問は実施しません		

（注1）

本学において試験を実施しません。外部英語試験スコア（TOEIC®L&R/TOEFL iBT®）を提出してください。

（注2）

試験開始時刻は受験票に同封される通知を参照すること。

（注3）

建築・都市学専攻総合芸術系の外国人留学生入学試験の「小論文」については、試験問題の言語として和文または英文いずれかを選択することができる。英文を選択する場合、A票（入学志願票）の筆記試験受験科目欄に「小論文（英文）」と記載すること。

（注4）

建築・都市学専攻総合芸術系の志願者で、修士研究の一部として作品制作を希望する者は、口頭試問時にポートフォリオ(作品集)を提示することができる。ポートフォリオをパソコンからスライド投影して提示したい者は、パソコンとHDMIケーブルに接続するためのアダプターを持参すること。

（注5）

建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系（外国人留学生入学試験B方式を除く）の口頭試問については、英語で行う。出願時に提出したポートフォリオ作品の補足説明をする際に、作品ボード、模型などの使用を希望する者は、口頭試問時に持参することができる。

選考方法 【博士前期課程】

● 「基礎科目・専門科目」出題範囲

専攻・系	出 題 範 囲
電 気 工 学 専 攻	「電気磁気学」及び「電気回路」の分野から出題する。電気磁気学 2 題、電気回路 2 題、合計 4 題を出題する。4 題全て解答すること。
機 械 工 学 専 攻	「材料力学」「設計・生産工学（信頼性工学を含む）」「熱・流体力学」「機械力学」「メカトロニクス・制御」の各分野から出題する。全て解答すること。
建築・都市学専攻 建 築 学 系	建築学全般から出題する。
応 用 化 学 専 攻	1. 基礎科目「無機化学」「有機化学」「物理化学」から出題する。 2. 専門科目「無機化学」「有機化学」「化学工学」「分析化学」の分野から 4 題出題する。 1 は全てを解答し、2 は 2 題を選択して解答すること。
情 報 科 学 専 攻	以下の 6 題のうち 4 題を選択して解答すること。 「数学」「プログラミング」「基礎」「ソフトウェア」「ハードウェア」「応用」
数 学 専 攻	1. 基礎科目「線形代数学」「微分積分学」から各 1 題 2. 専門科目「代数学」「幾何学」「解析学」から各 2 題出題する。 1 は全てを解答し、2 は 6 題から 2 題を選択して解答すること。
物 理 学 専 攻	①「力学」②「電磁気学」③「量子力学」・「統計力学」から出題する。全て解答すること。

● 「英語」外部英語試験の得点換算

	満点	零点
TOEIC [®] L&R	730	230
TOEFL iBT [®]	80	25

過去問題について

過去問題は生田キャンパス理工学部事務室窓口（事務室開室時間内のみ）にて過去 3 年分閲覧可能です。

なお、建築・都市学専攻のみ中野キャンパスの中野教務事務室においても閲覧可能です。

【注意事項】

※貸し出しの際は写真付き身分証明書をお預かりしますのでお持ちください。

※過去問題の郵送、HP掲載、コピー・写真撮影は禁止しております。

※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系は駿河台キャンパス、建築・都市学専攻総合芸術系は中野キャンパスで授業・研究を展開しております。

サンプル問題について

基礎科目・専門科目のサンプル問題をウェブサイト

(<https://www.meiji.ac.jp/sst/grad/examination/index.html>) で公開しております。

なお、建築都市学専攻総合芸術系の小論文のサンプル問題は公開しておりません。

また、一部問題については、著作権の都合により公開することができませんので、予めご了承くださいようをお願いいたします。

| 選考方法 【博士後期課程】

● 一般・外国人留学生・社会人特別入学試験共通

英語、口頭試問、書類選考により合否を判定します。

専攻（系）	時間 2 時限（60分） 11:40～12:40	午後
電 気 工 学 専 攻	英語 (注1)	口頭試問 (注2)
機 械 工 学 専 攻		
建 築 ・ 都 市 学 専 攻		
情 報 科 学 専 攻		
数 学 専 攻		
物 理 学 専 攻		
応 用 化 学 専 攻	英語	

(注1)

本学において試験を実施しません。外部英語試験スコア（TOEIC®L&R/TOEFL iBT®）を提出してください。

(注2)

試験開始時刻は受験票に同封される通知を参照すること。建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系の口頭試問は、英語で行う。

● 「英語」外部英語試験の得点換算

	満点	零点
TOEIC® L&R	730	230
TOEFL iBT®	80	25

過去問題について

過去問題は生田キャンパス理工学部事務室窓口（事務室開室時間内のみ）にて過去3年分閲覧可能です。

なお、建築・都市学専攻のみ中野キャンパスの中野教務事務室においても閲覧可能です。

【注意事項】

※貸し出しの際は写真付き身分証明書をお預かりしますのでお持ちください。

※過去問題の郵送、HP掲載、コピー・写真撮影は禁止しております。

※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系は駿河台キャンパス、建築・都市学専攻総合芸術系は中野キャンパスで授業・研究を展開しております。

| 試験当日の注意事項

1. 出願手続に不備が無い志願者に、受験番号を付した受験票を送付します。受験には受験票が必要なため、試験当日は必ず受験票を持参してください。受験票を持たない者の受験は認めません。
2. 受験票は、入学試験日の1週間前までに届くよう発送します。受験日の1週間前になっても受験票が届かない場合は、理工学部事務室大学院係へ連絡ください。
3. 受験票を忘失した場合、入学試験当日に理工学部事務室（中央校舎1階）で再発行します。発行手続の時間を考慮し、早めに来校してください。再発行には、本人確認のため、写真付身分証明書（運転免許証・パスポート・在留カード等）の提示が必要です。写真付身分証明書をお持ちでない場合は、健康保険証・年金手帳等を提示していただきます。
4. 筆記試験及び口頭試問を始める前に注意事項の説明及び顔写真照合を行いますので、指定された集合時刻までに所定の場所に着席してください。集合時刻を過ぎて到着した場合でも、注意事項の再説明は行いません。
5. 試験開始後、30分を過ぎて入室した者の受験は認めません。
6. 試験場等及び集合時刻は、受験票発送の際に通知します。
7. 時計・携帯電話・スマートフォン・腕時計型端末・ウェアラブル端末等のアラーム設定を解除し、通信機能や撮影機能がある機器は全て電源を切り、カバン等にしまってください。時計としての使用も認めません。カバン等の中で携帯電話等が鳴った場合は、監督者が本人の了解を得ずにカバン等を試験場の外に持ち出すことがあります。
8. 不正行為があるとみなされた場合は、当該年度における本学のすべての入学試験の結果を無効とします。また、これ以降の当該年度における本学の入学試験の出願・受験も認めません。なお、この取扱いに伴う入学検定料の返還は行いません。
9. 入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますため、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。
10. 試験当日、降雪や事故、台風等による交通機関の混乱が生じた場合、入学試験の実施に関する情報は明治大学の理工学研究科ウェブサイトまたはUCAROでお知らせします。
11. 自然災害や火災・停電・公共交通機関遅延等の不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、試験時間の繰り下げ、試験会場の変更及び日程の延期等の措置をとることがあります。なお、このことに伴う受験生の個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。
12. 自然災害や交通機関の事故・運休・遅延・ストライキ等の不測の事態が発生しても、試験時間繰り下げ等の措置を講ずることができない場合があります。遠距離移動がある場合や悪天候等が予想される場合には、あらかじめ試験場付近に宿泊場所を確保する等の対策を講じてください。なお、これらのことによって生じた受験生の負担費用、その他個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。

| 出願手続

| 出願書類の送付

1. 出願書類の提出は郵送のみ受付けます。入学検定料納入後、角 2 号封筒を使用して**所定の表紙を貼付し、速達・簡易書留**で出願期限（消印有効）まで送付してください。
2. 海外から出願する場合、EMS（国際スピード郵便）・国際宅配便等、配達状況が確認可能な方法で送付してください。また、各出願期間の最終日必着とします。出願書類の提出にあたっては、できる限り日本に在住する代理人が、出願書類を郵送してください。

＜送付先＞

1-1-1 Higashi-mita, Tama-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa, 214-8571 Japan
School of Science and Technology Office, Meiji University TEL : +81-44-934-7600

| 出願書類の注意事項

1. 出願期間内に必要なすべての出願書類を提出してください。出願期間内に提出された出願書類のみを有効とします。出願期間内に提出されない書類がある場合や、期間後の追加提出・差替えが必要な場合は、受験を認めません。
2. 一度提出した出願書類は、いかなる事由でも返還できません。
3. 出願書類の記載事項等に虚偽があることが判明した場合、合格・入学を取り消します。正確な情報を記載してください。
4. 志望する専攻(系)の必要出願書類を確認し、注意事項に従って記入してください。
5. 書類の記入には消えない黒のボールペンの使用またはPC入力とし、楷書で丁寧に記入してください。
6. 所定書式の※印欄は記入しないでください。
7. 年号は西暦を使用してください。

| 出願書類の内容

1. 全志願者が提出する書類

提出書類	所定書式	各自用意	準備・作成要領番号
A票（入学試験志願票・受験票）	○		①
B票（振込連絡票）	○		②
入学志願書	○		③
研究計画書	○		④
卒業（修了/学位取得）証明書 または 卒業（修了/学位取得見込）見込証明書		○	⑤/⑥
成績証明書		○	⑦
出願書類チェックリスト	○		⑧

2. 対象者のみ提出する書類

対象者	提出書類	所定書式	各自用意	準備・作成要領番号
博士後期課程応用化学専攻以外の志願者	外部英語試験のスコア		○	⑨
日本国以外の国籍保有者 (特別永住者を除く)	経費支弁方法計画書	○		⑩
	パスポートのコピー		○	⑪
	在留カードのコピー (日本在住者のみ)		○	⑫
	推薦書		○	⑬
社会人特別入学試験志願者	出願資格を証明する書類	○	○	⑭
飛び入学試験志願者	出願資格を証明する書類		○	⑮
博士前期課建築・都市学専攻 建築学系の志願者	指導教員希望調査票	○		⑯
博士前期課建築・都市学専攻 国際建築都市デザイン系の志願者	指導教員希望調査票	○		⑯
	作品集 (ポートフォリオ)		○	⑰
	作品集 (ポートフォリオ) 証明書	○		⑱
	履修・修得科目の内容を証明する書類 (シラバス等)		○	⑲
出願資格審査を受ける必要がある志願者 (※「出願資格」の項参照)	推薦書出願資格審査申請書	○		—

➤ 記入方法等の詳細は次ページ以降を参照してください。

出願書類の準備・作成要領

1. 全志願者が提出する書類

提出書類

① A票（入学試験志願票・受験票）

消えない黒のボールペンまたはP C入力によって**太線枠内**のみ記入してください。（P C入力する場合、Microsoft Edge では正しく表示・入力できません。ダウンロード（P Cへ保存）したうえで、「Adobe Acrobat Reader」を利用ください。）
書式の変更・改変は行わないでください。

1. 課程

1. 博士前期・博士後期のいずれかを選択してください。

2. 研究科、専攻、系、研究科コード

1. 志願する研究科、専攻名、研究科コードを記入してください。建築・都市学専攻のみ系を記入してください。研究科コードは「入学定員等」を参照。

3. 氏名

1. 戸籍、パスポートあるいは住民票に記載の氏名〔姓（Last Name）名（Given Name）の順〕を記入してください。（Middle Name）の記入は不要です。フリガナについては、通常使用する読みを記入してください。氏名は20文字まで記入可能です。
2. 漢字氏名のうちJISコード第一・第二水準外の文字は、登録エラーになる場合があります。その場合は、代替文字を記入してください。代替文字がない場合は、氏名全てをカナで記入してください。また、受験票、合格証および入学後使用する氏名においては、代替文字やカナ表記等に置き換えます。

3. 代替文字の例

改正前	逢	芦	葛	樋	禰	辻	榊	鮫	樽	汲	釜
改正後	逢	芦	葛	樋	禰	辻	榊	鮫	樽	汲	釜

4. JIS漢字コード表改正（平成16年）に伴う168字の例示字形については、受験票、合格証および入学後使用する氏名において、改正後の字形を使用します。
字形の例

高→高、吉→吉、崎→崎、塚→塚、廣→廣、濱→濱、槁→橋、祥→祥、瀬→瀬、靖→靖、
靜→静、邦→邦、柳→柳、德→德、隆→隆、昇→昇、角→角、寛→寛、桑→桑など

次ページにつづく

4. 生年月日

1. 西暦を使用し、月日が1ケタの場合は十の位に0を付けて記入してください。

5. 性別

1. 該当するアルファベットに○（または☑）を付けてください。

6. 住所・電話番号

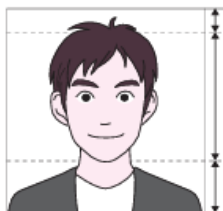
1. この住所は、受験票を送付する際に使用します。受取ることのできる日本国内の本人住所を記入してください。本人が日本国内にいない場合は、代理人の住所・氏名を記入してください。
2. 漢字で記入し、フリガナを付けてください。
3. 「丁目」「番地」「号」などはハイフン「-」に置き換えて記入してください。
4. マンション名・アパート名等は省略せず、必ず記入してください。また、下宿等の場合は「〇〇様方」まで記入してください。
5. 電話番号は左詰め、局番の区切りはハイフン「-」で記入してください（携帯電話番号可）。日本国内の電話番号を持っていない場合は、「999-9999-9999」と記入してください。
6. 出願後に変更が生じた場合には、必ず表記問合せ先へ連絡してください。

7. 写真

1. 出願前3ヶ月以内に撮影したカラー写真（タテ4cm×ヨコ3cm）。
2. 正面（焦点が合っているもの）・光沢仕上げ・上半身・脱帽・背景無地及び枠なし、加工なしのもの。
3. 受験の際に眼鏡着用の者は、眼鏡着用の写真を貼ってください。
4. 写真の裏面に「出願専攻、氏名」を記入してください。
5. この写真は入学後の学生証の写真として、在学期間を通じて使用することになります。
6. 日本国外の出願者のうち、受験のための短期滞在ビザを取得するため、本学の受験許可証の発行を希望する者は、この他に同一の写真1枚（4cm×3cm）が必要となります

●受け付けできる写真例

- ・ 上部に隙間がある。
- ・ 水平かつ正面を向いている。
- ・ 顔の大きさが全体の3分の1以上ある。
- ・ 両目の瞳が確認できる。
- ・ 肩の一部が写っている。



8. 最終出身大学、最終出身大学院、卒業年月、修了年月

1. 最終出身校を記入してください。
2. 博士後期課程受験者は、大学・大学院とも記入してください。
3. 西暦で記入し、次のいずれかの番号から選び、記入してください。
「1 卒業（修了）見込み」「2 卒業（修了）」

9. 本学・他大学、大学種類

1. 出身大学（大学院）について、次のいずれかの番号から選び、記入してください。
「1 明治大学」「2 他大学」
2. 大学種類について次の番号から選び、記入してください。なお、飛び入学試験受験者は「5 その他」を選択してください。
「1 国立(日本)」「2 公立(日本)」「3 私立(日本)」「4 外国」
「5 その他」

10. 現職、職種、業種

1. 現在の職業について、会社名及び就業年月を記入してください。
2. 現在の職業について、職種を次から選び、その2桁の番号を記入してください。

01 営業	06 設計	11 一般事務
02 経理	07 生産技術	12 システムエンジニア
03 調査企画	08 生産管理	13 教員
04 人事労務	09 施工	20 その他
05 研究開発	10 商品企画	

3. 現在の職業について、業種を次から選び、その2桁の番号を記入してください。

01 製造業（食料品、衣服、木製品、化学工業製品、ガラス製品、金属製品、機械器具製品等）
02 出版・印刷・放送・広告（新聞業、出版業、印刷業、広告代理店、テレビ局）
03 電気・ガス・熱供給・水道業（電気、ガス、熱を媒体とするエネルギー、水道）
04 運輸・通信業（鉄道業、道路旅客運送業、旅行業、通信業）
05 卸売業（総合商社、一般商社）
06 小売業（百貨店、スーパー、飲食店、自動車、家電製品、医薬品等）
07 金融業（銀行、信用金庫、証券業、生命保険、損害保険）
08 教育（小・中・高等学校、大学、教育機関、予備校）
09 サービス業（ニュース供給業、法律・公認会計士・税理士事務所、経営コンサルタント、ホテル、娯楽施設）
10 医療・保健業（病院、保健衛生、廃棄物処理業）
11 非営利団体（社会保険、学術研究機関、政治・経済団体）
12 公務（国家公務、地方公務）
20 その他

11. 指導教員名

1. 志望する教員名を別掲の「研究指導担当教員一覧」を参照のうえ、正確に記入してください。
2. 博士後期課程のすべての専攻、並びに、博士前期課程の電気工学専攻、機械工学専攻、情報科学専攻、物理学専攻の志願者は、出願前に必ず指導教員に事前相談を行ってください。

12. 筆記試験受験科目

1. 筆記試験科目・時間割を参照して筆記試験受験科目を記入してください。口頭試問は記入しないでください。なお、出願時に届け出た科目（外部英語試験含む）は変更できません。

（記入例）

時限	科目
1 時限	「基礎科目・専門科目」（建築・都市学専攻総合芸術系以外の博士前期課程の志願者） 「小論文」（博士前期課程建築・都市学専攻総合芸術系のみ） （注）博士前期課程建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系および建築・都市博士後期課程は空欄としてください。
2 時限※	「TOEIC」または「TOEFL」（提出する試験の名称を記入する） 「英語」（博士後期課程応用化学専攻の志願者のみ）

※建築・都市学国際建築都市デザイン系志願者は、2 限目の欄に出願資格として提出する外部英語試験の名称、または英語課程修了の旨を記入してください。

（記入例：TOEIC、TOEFL、IELTS、英語課程修了）

次ページへつづく

13. 入学形態 1、2、3

1. 入学形態 1 には、次の記号から選び記入してください。

F 一般入学試験	H 社会人特別入学試験
G 外国人留学生入学試験	J 飛び入学試験
T 外国人留学生入学試験 (B方式)	

2. 入学形態 2 には、外国籍の受験者でビザの種類が「留学」の方のみ、次から選び番号を記入してください。

「1 私費」「2 国費」

3. 入学形態 3 には、入学形態 1 で「H 社会人特別入学試験」を選択した方のみ、次の番号から選び記入してください。

「1 派遣」「2 休職」「3 無職」「4 その他」

14. 区分

1. 区分を次の番号から選び記入してください。

1 卒業見込・修了見込	3 社会人（入学のため休職予定）	6 社会人（在職その他 ※主婦・定年退職者も含む）
2 学部 3 年生から	4 社会人（企業派遣）	
	5 社会人（入学のため退職予定）	7 その他（無職・浪人も含む）

15. 学費

1. 該当のコードを次から選び、その 2 桁を記入してください。

(博士前期課程)		
建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系以外の志願者		
01 他大学出身者	71 明治大学出身者	
建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系志願者		
91 他大学出身者	92 明治大学出身者	
(博士後期課程)		
01 他大学→他大学院出身者	71 明治大学大学院出身者	72 明治大学→他大学院出身者

16. 実施期

1. 次の番号から選び記入してください。

「1 I 期」「2 II 期」

17. 奨学金

1. 記入不要です。

18. 国・地域

1. 外国籍の受験者は、次ページの「国・地域コード一覧」を参照し、該当するコードを記入してください。

19. 入学希望学年、受入学年

1. 記入不要です。

20. 最終学生番号

1. 明治大学出身者は 10 桁の学生番号を記入してください。

次ページへつづく

A票の受験票部分の記入方法 ※点線は切り取らずに提出してください。

21. 課程、研究科、専攻、系、筆記試験受験科目、氏名

1. A票上部に記入したものと同じように記入してください。

22. 受験番号、大学取扱印

1. 記入不要です。

合格発表・入学手続等には入学志願票（A票）に記入した以下の項目が必要となります（UCAROの「出願連携」で使用します）。必ずご自身の手帳や以下のメモ欄に控えておいてください。

氏名（フリガナ）	セイ：	メイ：
生年月日（西暦）	年	月 日
電 話 番 号	－	－

| 国・地域コード一覧

国・地域	コード	国・地域	コード	国・地域	コード	国・地域	コード	国・地域	コード
韓 国	201	スリランカ	216	ノルウェー	406	フィリピン	421	アラブ首長国連邦	603
朝 鮮	202	モンゴル	217	ス イ ス	407	ブルガリア	422	イスラエル	604
中 国	203	ブ ー タ ン	218	オーストリア	408	セルビア	423	オーストラリア	701
台 湾	204	ミャンマー	219	オ ラ ン ダ	409	トルクメスタン	424	ニュージールランド	702
マレーシア	205	シンガポール	220	ベルギー	410	ブラジル	501	エジプト	801
インドネシア	206	香 港	221	スペイン	411	チ リ	502	モロッコ	802
タ イ	207	マ カ オ	225	ト ル コ	412	アルゼンチン	503	タンザニア	803
フィリピン	208	ア メ リ カ	301	ロ シ ア	413	ペ ル ー	504	エチオピア	804
ベトナム	209	カ ナ ダ	302	クロアチア	414	ボリビア	505	スーダン	805
カンボジア	210	メキシコ	303	エストニア	415	パラグアイ	506	リビア	806
ラ オ ス	211	イギリス	401	キルギス	416	ドミニカ	507	チャド	807
イ ン ド	212	ド イ ツ	402	ウクライナ	417	ホンジュラス	508	ナイジェリア	808
パキスタン	213	フ ラ ン ス	403	ウズベキスタン	418	エルサルバドル	509	ガ ー ナ	809
ネパール	214	イタリア	404	ギリシャ	419	イ ラ ン	601	そ の 他	999
バングラデシュ	215	スウェーデン	405	ルーマニア	420	サウジアラビア	602		

提出書類

② B票（振込連絡票）

消えない黒のボールペンによって**太線枠内**のみ記入してください。
書式の変更・改変は行わないでください。

1. 志望学科等

1. 研究科、専攻を（建築・都市学専攻は系も）記入してください。
2. D票の研究科コードは、志願する研究科のコードを記入してください。研究科コードは「入学定員等」を参照。
3. 検定料納入後、取扱金融機関収納印が押されていることを必ず確認してください。
4. B票のみを送付してください。C票は志願者本人が大切に保管してください。
5. 入学検定料の納入方法は、「入学検定料の納入」の項目をご確認ください。

提出書類

③ 入学志願書

消えない黒のボールペンまたはP C入力によって記入してください。（P C入力する場合、Microsoft Edge では正しく表示・入力ができません。ダウンロード（P Cへ保存）したうえで、「Adobe Acrobat Reader」を利用ください。）
書式の変更・改変は行わないでください。

記入における注意事項

1. 理工学研究科ウェブサイト上に公開されている【見本】を参照し、記入してください。
2. 日本国籍以外の国籍を有する志願者（特別永住者除く）は、外国籍用の入学志願書を使用してください。
3. A票（入学志願票）と同一の出願前3か月以内に撮影したカラー写真を糊づけで貼付してください。
4. 博士後期課程のすべての専攻、並びに、博士前期課程の電気工学専攻、機械工学専攻、情報科学専攻、物理学専攻の志願者は、出願前に志望する指導教員に必ず事前相談の上、チェックボックスにチェックを記入してください。

提出書類

④ 研究計画書

消えない黒のボールペンまたはP C入力によって記入してください。（P C入力する場合、Microsoft Edge では正しく表示・入力ができません。ダウンロード（P Cへ保存）したうえで、「Adobe Acrobat Reader」を利用ください。）
書式の変更・改変は行わないでください。

記入における注意事項

1. 所定用紙（A 4一枚以内）の枠内に入学後の研究計画と将来の志望進路をできる限り具体的に記入してください。
2. 所定用紙に記載された注意事項をよく確認してください。

提出書類

- ⑤ 卒業（修了/学位取得）証明書 または
- ⑥ 卒業（修了/学位取得見込）見込証明書
- ⑦ 成績証明書

すべての出身大学・大学院の卒業（修了/学位取得）証明書、卒業（修了/学位取得）見込証明書・成績証明書の原本を提出してください。

1. 日本国内の大学/大学院の場合

1. 出身大学が発行する卒業（修了）証明書、卒業（修了）見込証明書、並びに、成績証明書を提出してください。
2. 卒業見込者は出願時の3ヶ月以内、既卒者は卒業後に発行された証明書を提出してください。
3. 卒業（修了）証明書と成績証明書が同一となっている証明書を、両書類の代替とできます。
4. 氏名及び生年月日、入学年月、卒業（修了）年月の記載が必須となります。
5. 婚姻等の事由により戸籍と証明書の氏名が異なる場合、戸籍抄本等の本人と同一であることが証明できる公的書類を添付してください。
6. 編入学を経て卒業した者は、卒業時と編入学前の両方の成績証明書を提出してください。
7. ダブル・ディグリー制度により2つの大学から学位を取得している者（見込みを含む）は、原則として双方の大学の証明書を提出してください。
8. 科目等履修生・研究生・聴講生等も「在学証明書」と「成績証明書」の原本を提出してください。
9. 退学、除籍者は、それがわかる証明書を提出してください。
10. 【博士後期課程志願者のみ】明治大学大学院博士前期課程・修士課程修了者、修了見込者（専門職大学院修了・修了見込者を除く）は、学部の卒業・成績証明書は必要ありません。明治大学大学院博士前期課程・修士課程の修了（見込）証明書及び成績証明書のみ提出してください。

2. 日本国外の大学/大学院の場合

1. 出身大学が発行する学位取得（見込）証明書、並びに、成績証明書を提出してください。※中国国内（香港・台湾・マカオを除く）の教育機関を卒業・修了（見込）の場合は、CHSIからの直送手続きが必要です。
2. 日本語または英語の原本（コピー不可）の学位取得証明書を提出してください。卒業見込者は出願時の3ヶ月以内、既卒者は卒業後に発行された証明書を提出してください。
3. 証明書の氏名がパスポートの記載と異なる場合、同一人物であることの公的機関の証明書が必要です。
4. ダブル・ディグリー制度により2つの大学から学位を取得している者（見込みを含む）は、原則として双方の大学の証明書を提出してください。

→ 提出する証明書の詳細は、次ページ以降の「外国の教育機関を卒業・修了（見込）した場合の各種証明書について」を参照。

| 外国の教育機関を卒業・修了（見込）した場合の各種証明書について

1. 中国※以外の教育機関を卒業・修了（見込）の場合 ※香港・台湾・マカオを除く

1. 証明で使用する言語は原則として英語または日本語とします。
2. 証明書の原本の提出ができるか、また、証明書の言語が日本語または英語によって作成されているかによって、必要な手続きや提出書類が異なります。以下の表からご自身の状況を確認のうえ、証明書を手配してください。

原本 言語	原本を提出できる	原本を提出できない
日本語・英語	【必要手続】 なし 【提出書類】 日本語または英語で作成された各種証明書の原本	【必要手続】 証明書の原本をコピーし、原本から正しく複製されたものであることを、卒業・修了（見込み）の大学・大学院または大使や公証処などの公的機関に認証※（certified true copyの作成）してもらってください。 その際、公的機関には「この写し（コピー）が、原本から正しく複製されたものであることを証明してください」と伝えてください。 ※日本語または英語による認証が望ましい。 【提出書類】 日本語または英語で作成された原本証明済みのコピー（certified true copy）
日本語・英語以外	【必要手続】 日本語または英語の訳文を作成し、原本から正しく訳されたものであることを、大使館や公証処などの公的機関に認証※してもらってください。 その際、公的機関には「この訳文の内容が原本と相違ないことを証明してください」と伝えてください。 ※日本語または英語による認証が望ましい。 【提出書類】 - 日本語または英語以外で作成された証明書の原本 - 公的機関で認証を受けた訳文の原本	【必要手続】 ① 証明書の原本をコピーし、原本から正しく複製されたものであることを卒業・修了（見込み）の大学・大学院または大使や公証処などの公的機関に認証※(certified true copyの作成)してもらってください。 ② 日本語または英語の訳文を作成し、原本から正しく訳されたものであることを、大使館や公証処などの公的機関に認証※してもらってください。その際、公的機関には、「この訳文の内容が原本と相違ないことを証明してください」と伝えてください。 ※日本語または英語による認証が望ましい。 【提出書類】 - 日本語または英語で作成された原本証明済みのコピー（certified true copy） - 公的機関で認証を受けた訳文の原本

次ページへつづく

2. 中国※国内の教育機関を卒業・修了（見込）の場合 ※香港・台湾・マカオを除く

中国の大学を卒業(修了)した方は、学位取得証明書及び成績証明書について、次の一.～二.を出願書類として提出してください。**本項目で提示する方法以外による学位取得証明書や成績証明書（出身大学等が発行するもの）の提出は、いかなる理由があっても一切受け付けられません。**

【注意】

申請から発行までには時間がかかります。出願期間に間に合うよう手続き行ってください。なお、2024年度以前に本学に到着したものは無効とします。また、ダブル・ディグリー制度により2つの大学から学位を取得している者（見込みを含む）は、双方の大学の証明書を提出する必要があります。

以下の申請方法により、中国『中国高等教育学生信息网（CHSI）』によって認証されたものを提出してください。（詳細はCHSIウェブサイトを確認してください。）

一. 学位取得証明書

1. 出願者自身で中国高等教育学生信息网（CHSI）へオンライン申請を行ってください。※英語または中国語で認証を受けてください。
2. 次のいずれかの電子認証報告メールが、CHSIから明治大学大学院に直接送信されるように申し込んでください。CHSIから直接本学に届くメールに限り有効です。出願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効とします。
 - 「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」（英文）
 - 「中国高等教育学位在线验证报告」（中文）電子認証報告メール送信先 ⇒ sst@mics.meiji.ac.jp
3. 申請が完了したら、「出願書類チェックリスト」にチェックを入れ、「申請日」の欄にその日付を記入してください。

二. 成績証明書

1. 出願者自身で中国高等教育学生信息网（CHSI）へオンライン申請を行ってください。※英語で認証を受けてください。
2. 次の電子認証報告メールが、CHSIから明治大学大学院に直接送信されるように申し込んでください。CHSIから直接本学に届くメールに限り有効です。出願者本人が受領し、本学へ転送した認証書は無効とします。
 - 「Verification Report of China Higher Education Student's Academic Transcript」（英文）※Online Verification Reportではありません。電子認証報告メール送信先 ⇒ sst@mics.meiji.ac.jp
3. 申請が完了したら、「出願書類チェックリスト」にチェックを入れ、「申請日」の欄にその日付を記入してください。

2. 対象者のみ提出する書類

提出書類	対象者
⑨ 外部英語試験のスコア	博士後期課程応用化学専攻 <u>以外</u> の志願者

次のとおり、「TOEFL®」、「TOEIC® L&R」または「IELTS™（アカデミック・モジュール）※」のいずれかの公式スコアを提出してください。※博士前期課程建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系のみ可

1. 出願締切日を起点として過去2年以内に受験したものが有効です。
2. 出願期間内に提出された（到着した）スコアのみを有効とします。出願締切日までにスコアの提出（到着）が間に合わない場合、「英語」試験の点数を0点として扱います。ただし、TOEIC® L&Rにおける提出方法Bによって提出する者は除きます。
3. 志願者情報（氏名・生年月日等）とスコアの表記が一致していない場合は、試験実施団体に連絡し、訂正してください。志願者情報とスコアの表記に相違がある場合、また、スコアに顔写真がない場合は、「英語」試験の点数を0点として扱います。
4. 建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系志願者で、全教育課程が英語による学士課程及び修士課程(博士後期課程志願者のみ)を修了し、学士・修士の学位を取得した者は、出身大学発行の証明書を提出することで外部英語試験のスコア提出が免除されます。

A) TOEFL iBT®

①と②の両方を完了してください。

① Institutional Score Report (Official Score Report)の直送手続き

- 試験実施団体である米国ETS（Educational Testing Service）から明治大学大学院に直送手続きしてください。ETSが発行したものであっても、他の出願書類と一緒に志願者から送付されたものは受け付けません。
- Institutional Score Report (Official Score Report)の発行手続きについて
 <申請に必要なコード番号>
 明治大学大学院のInstitution (DI) Code : 5132
 理工学研究科のDepartment Code : 専攻ごとに次のコードを使用
 電気工学専攻 66 機械工学専攻 68 建築・都市学専攻 12
 応用化学専攻 64 情報科学専攻 78 数学専攻 72 物理学専攻 76

② スコアの証明書番号Appointment number(Registration number)等の連絡

- 出願書類チェックリストに、Appointment number(Registration number)および本学への直送手続き日を記載してください。
- iBT®のスコアのみ有効とします。ただし、TOEFL iBT® Home Editionのスコアの使用は認めません。
- MyBest™スコアは利用できません。
- 受験者に送付される「Test Taker Score Report」は受け付けません。
- スコアの請求方法やスコア到着に必要な所要時間については、ETSのウェブサイト参照してください。
- 出願締切日までに本学にてInstitutional Score Report (Official Score Report)の到着が確認できたもののみ有効となります。スコア到着までに時間がかかりますので、出願期間に間に合うように十分余裕を持って手続きを行ってください。なお、本要項公開後であれば、出願期間より前に到着しても受理しますので、早目に手配してください。

次ページへつづく

B) TOEIC® L&R

次の①または②のどちらかのOfficial Score Certificate（公式認定証）を、下記のAまたはBの方法で提出してください。提出後、提出方法の変更やスコアの差替えは一切受け付けません。

【公式認定証】

① 試験実施機関が発行する紙のOfficial Score Certificateの原本

➤ 下部を切り取って送付する場合は、A4用紙（白紙）に貼付してください。

② デジタルOfficial Score CertificateのPDF版をA4サイズの紙に印刷したもの

➤ 日本国内での受験者のみ対象、スコア確認用のQRコードが付されているものに限り、デジタル公式認定証は、日本国内での実施される2024年4月以降実施の試験で導入されています。詳細は、日本国内での試験実施機関である（一財）国際ビジネスコミュニケーション協会（IIBC）の情報を確認してください。

【提出方法】

A 出願書類とともに提出

- 出願時：出願書類とともに①または②のいずれかを同封し、出願期限までに提出する。
- 試験当日：なし。

B 試験当日の提出（Ⅱ期及び博士前期課程建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系志願者は不可）

- 出願時：出願書類とともに受験票のコピー（顔写真、受験回、受験番号が確認できるページ）を同封し、出願期限までに提出する。※出願書類チェックリストには、受験番号を記載してください。
- 試験当日：①または②のいずれかを持参し指定の時間に提出

（注）次の場合は「英語」試験の点数を0点として扱います：

- ・出願時に提出した受験票コピーに記載された受験回、受験番号と試験当日に提出するOfficial Score Certificate（公式認定証）の受験回、受験番号が一致しない。
- ・試験当日の指定の時間に提出できない。

C) IELTS™（アカデミック・モジュール）

※博士前期課程建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系のみ提出可
試験実施団体から志願者本人に届く「Test Report Form」のコピーを提出してください。

提出書類	対象者
⑩ 経費支弁計画書	日本国以外の国籍保有者 (特別永住者を除く)

所定の書式に従い入学後の経費支弁の計画を記入してください。

記入における注意事項

1. 課程・研究科・専攻・系等を間違いなく記入してください。
2. 本学に留学する際に必要な学費・生活費の支弁方法について記載してください。合計額が1年間の学費・生活費を十分賄える額になるように、記入してください。
3. 署名欄は必ず自筆で署名してください。
4. 1年間の学費については、「入学金・学費」を参照してください。
5. 私費外国人留学生の生活費については、独立行政法人日本学生支援機構ウェブサイトの私費外国人留学生生活実態調査などを参考にしてください。
6. 本学進学の際にビザを取得または更新する際に、入国管理局に在留中の経費支弁を証明する書類の提出が必要になります。証明ができない場合、ビザが発給されない可能性もありますので、経費支弁について十分計画したうえで、出願してください。

提出書類	対象者
⑪ パスポートのコピー	日本国以外の国籍保有者 (特別永住者を除く)

提出における注意事項

1. 「氏名・生年月日・パスポート番号の記載・顔写真のあるページ」のコピーを提出してください。

提出書類	対象者
⑫ 在留カードのコピー	日本在住の日本国以外の国籍保有者 (特別永住者を除く)

提出における注意事項

1. カードの表面と裏面両方のコピーを提出してください。

提出書類	対象者
⑬ 推薦書	日本国以外の国籍保有者 (本学理工学部・理工学研究科出身者及び特別永住者を除く)

提出における注意事項

1. 出身大学の指導教員等による推薦書 1 通提出してください。博士前期課程建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系志願者は、異なる推薦者 2 名から各々 1 通、合計 2 通提出してください。
2. 書式は自由とし、日本語または英語で記載してください。

提出書類	対象者
⑭ 出願資格を証明する書類	社会人特別入学試験の志願者

社会人特別入学試験に出願する場合は提出してください。

記入における注意事項

1. 〔出願資格（ア）〕 に該当する志願者は、所定書式の社会人特別入学試験受験及び入学許可証（所属長の承諾書）に必要事項を記入・押印のうえ提出してください。
2. 〔出願資格（イ）〕 に該当する志願者は、志望する指導教員の推薦書及び在職期間を証明できる書類を提出してください。

提出書類	対象者
⑮ 出願資格を証明する書類	飛び入学試験の志願者

飛び入学試験に出願する場合は提出してください。

記入における注意事項

1. 所属大学の 2 年次末までの成績証明書を提出してください。
2. 所属大学の研究担当教員（ゼミ担当教員）または学科長等の推薦書を提出してください。ただし、本学在学学生で情報科学専攻の志願者は不要です。

提出書類	対象者
①⑥ 指導教員希望調査票	博士前期課程建築・都市学専攻の志願者 (総合芸術系を除く)

建築・都市学専攻（総合芸術系を除く）に出願する場合は提出してください。

記入における注意事項

1. 〔建築学系〕の志願者は、所定書式の建築学系の指導教員調査票に記入のうえ提出してください。
2. 〔国際建築都市デザイン系〕の志願者は、所定書式の国際建築都市デザイン系の指導教員調査票に記入のうえ提出してください。

提出書類	対象者
①⑦ 作品集（ポートフォリオ）	博士前期課程建築・都市学専攻 国際建築都市デザイン系の志願者

建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系に出願する場合は提出してください。

提出における注意事項

1. A 4 サイズまたはレターサイズの作品集（ポートフォリオ）を1部提出してください。
2. ページ数、縦横使いは自由です。
3. グループ作品を含む場合は、その旨と自身の担当箇所を明記してください。なお、提出された作品集（ポートフォリオ）は返却しません。

提出書類	対象者
①⑧ 作品集（ポートフォリオ） 証明書	博士前期課程建築・都市学専攻 国際建築都市デザイン系の志願者

建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系に出願する場合は提出してください。

提出における注意事項

1. 所定書式の作品集（ポートフォリオ）証明書【貼付用】の太枠内すべてに記入した上で、担当教員により本人の作品であることの証明（署名・押印）を受けてください。
2. 担当教員の証明を得ることが出来ない場合には、他の推薦者、あるいは親族以外で作品を適切に評価し得る第三者（他大学の教員、建築・美術分野の企業担当者等）による証明を得てください。
3. この証明書は作品集（ポートフォリオ）の最終頁に貼り付けて提出してください。

提出書類	対象者
⑬ 履修・修得科目の内容を証明する書類（シラバス等）	他大学および本学理工学部以外出身の 博士前期課程建築・都市学専攻 国際建築都市デザイン系の志願者 （任意）

他大学および本学理工学部以外出身の建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系に出願する場合は可能な限り提出してください。

提出における注意事項

1. 成績証明書に示された各修得科目の科目内容が分かる書類（日本語または英語記載のシラバス等）を提出してください。
2. この書類をもとに、本学における学部学習・教育到達目標との同等性の審査を行い、必要に応じて、入学後の学部の科目の後戻り履修、大学院科目の指定履修等の条件設定に用います。
3. 日本語あるいは英語のシラバスの提出が困難な場合は、入学後に、同等性の審査に基づき、指導教員と履修科目の相談を行います。なお、入学時には「JABEEプログラム認定対象生」と「対象外生」に区別されます。
4. 合格発表時に「JABEEプログラム認定対象生」として認められるためには次の資料の提出が必要です。
 - 修得した実習科目の成績のわかる資料とそのシラバス（認定されるためには5科目以上が必要）。
 - 国内の大学を卒業あるいは卒業見込みの者は、一級建築士資格の受験資格要件を満たす科目を履修したうえで、大学の学部課程を卒業あるいは卒業見込みであることを示す資料。
 - 外国の大学を卒業あるいは卒業見込みの者は、「UNESCO-UIA 建築教育憲章」が求める教育要件を含むプログラムであって、国際通用性のある5年以上の全日制的プログラムにおける当初3年間部分の教育内容と同等以上である大学の学部課程を卒業あるいは卒業見込みであることを示す資料。

上記の資料が提出されない場合には、入学時に必要な資料の提出を求めたうえで面談を行い、「JABEEプログラム認定対象生」か「対象外生」かの判断を行います。

| 入学検定料の納入

1. 入学検定料は**35,000円**です。※建築・都市学専攻国際建築都市デザイン系外国人留学生入学試験B方式（渡日前）のみ、**15,000円**です。
2. 入学検定料の納入期限は、定められた出願期限〔期限当日の日付印有効〕までです。入学検定料は出願期間前にも振り込むことができます。（消費税は課税されません。）
3. 以後に提示するア～エのいずれかの方法で、納入してください。
4. いったん納入された入学検定料は、返還しません。ただし、以下の場合には入学検定料を返還します。
 - ① 入学検定料を納入したが、出願書類を提出しなかった場合
 - ② 受験資格を欠くものが出願した場合
 - ③ 出願締切日後に出願した場合
 - ④ 納入すべき入学検定料より過剰に納入した場合

入学検定料の返還請求期限・方法について

- a. 入学検定料の返還請求は、出願期限から1か月以内に理工学部事務室入試係に連絡してください。※期限を過ぎた返還請求には、応じません。
- b. 返還事由に該当する場合には「入学検定料返還願」を送付しますので、必要事項を記入の上、「入学検定料領収書（C票）」を添付して提出してください。入学検定料領収書（C票）がない場合には、入学検定料を返還できないことがあります。
- c. 入学検定料についての問い合わせ先
財務課 学費係 TEL：03-3296-4096

ア 金融機関から納入する場合 ※ゆうちょ銀行は取扱いできません。

1. 検定料振込用紙（B票～D票）に必要事項を記入してください。D票の研究科コードは10ページを参照してください。
2. 金融機関の窓口から「電信扱」で振り込んでください。
3. 振り込みは現金に限ります。小切手等の有価証券・ATM（現金自動預入払機）は利用できません。
4. 振り込みの際、手数料が必要となりますが、検定料振込依頼書に記載されている金融機関の本支店から振り込む場合、手数料は無料です。
5. 入学検定料は出願期間前（入学検定料納入期間）にも振り込むことができます。
6. B票・C票の2か所に金融機関の収納印が押されていることを、必ず確認してください。収納印がない場合は、入学検定料を納入したことにはなりませんので、十分注意してください。
7. C票は、切り離して本人が保管してください。
8. 取扱金融機関の収納印をもって本学の領収とします。
9. 領収書はあらためて発行しませんので、大切に保管してください。

イ コンビニエンスストアを利用する場合 （一般・外国人留学生・社会人特別入試のみ対応）

1. 利用方法については、別紙「コンビニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料支払方法」を参照してください。なお、コンビニエンスストアでの納入の場合、別途手数料がかかります。詳しくは、「イーサービスサポートセンター」のウェブサイト（<https://e-shiharai.net/>）でご確認ください。また、入学検定料納入期間以外、利用できません。
2. コンビニエンスストアでの納入に関する問い合わせは、「E-支払いサービス」のウェブサイト（<https://e-shiharai.net/>）でご確認ください。
3. 店頭で支払後に発行される「入学検定料・選考料取扱明細書」の『収納証明書』を切り取り、振込連絡票（B票：大学送付用）の所定欄に貼付してください。
4. コンビニエンスストアが発行する「チケット等払込受領証」、「オンライン決済領収書」または「取扱明細書兼領収書」をもって本学の領収とします。
5. 領収書はあらためて発行しませんので、大切に保管してください。
6. C票・D票は出願の際には不要です。

ウ クレジットカード・中国決済を利用する場合 (一般・外国人留学生・社会人特別入試のみ対応)

1. 「VISA」「マスターカード」「JCB」「アメリカンエクスプレス」「銀聯（ユニオンペイ）」で納入ができます。
2. 利用方法については、別紙「コンビニエンスストア・クレジットカードでの入学検定料支払方法」を参照してください。なお、クレジットカード・中国決済での納入の場合、別途手数料がかかります。詳しくは「E-支払いサービス」のウェブサイト (<https://e-shiharai.net/>) でご確認ください。また、入学検定料納入期間以外、利用できません。
3. 支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して『収納証明書』を印刷してください。
4. 『収納証明書』を切り取り、振込連絡票（B票：大学送付用）の所定欄に貼付してください。
5. 「領収書」は発行されません。申込内容照会画面を印刷し、大切に保管してください。クレジットカード・中国決済の明細書には「E-支払事務局」と記載されます。
6. C票・D票は出願の際には不要です。

エ 日本国外から納入する場合

1. 入学検定料の他に、送金手数料が必要になります。外国向け送金の際に発生する全ての手数料は、送金人(志願者)が負担してください。手数料は「依頼人負担 (Remitter's Account)」とし、送金人が現地の金融機関で支払ってください。
2. 送金手数料は、下記(1)～(3)です。現地の送金銀行と、明治大学の受取銀行の両方で発生します。また、これらに加えて、経由銀行での手数料が発生する場合があります。すべて現地の送金銀行でお支払いください。いったん納入した入学検定料は返還しません。

【送金手数料】

- (1) 現地の送金銀行での送金手数料等
 - (2) 明治大学の受取銀行での円為替手数料と被仕向送金手数料の合計
 - (3) 経由銀行がある場合の関係銀行手数料
(金額は現地金融機関にてご確認ください。)
3. 入学検定料が、明治大学の銀行口座に、出願期間内に到着することを確認のうえ、送金してください。送金に1週間程度の日数を要する場合がありますことを考慮して、余裕をもって送金してください。入学検定料は出願期間前でも受け付けます。
 4. 明治大学への到着金額が、入学検定料に満たない場合は、「出願辞退」とみなされ、返還することができません。また、送金途中の事故などにより、本学口座へ入金されない場合の責任は、送金人が負うこととします。
 5. 「領収書」は発行されません。送金時に金融機関から「外国向け送金依頼書 (Application for Remittance)」が発行されます。原本は送金の証拠書類として大切に保管し、コピーを明治大学にお送りください。
 6. B票に必要事項を記入し、出願書類として提出してください。C票・D票は出願の際には不要です。
 7. 送金完了次第、次の海外送金完了報告フォームに必要事項を必ず入力してください。送金人が志願者本人の場合であっても報告フォームへの入力が必要です。連絡がないと入金の確認ができず、手続きが完了しません。

- 海外送金完了報告フォーム (<https://forms.office.com/r/qK8hF0hWtN>)
(Screening Fee Payment Completion Report Form)



8. 次ページの送金要領を確認のうえ、支払ってください。

<送金要領>

送金種類 (Type of remittance)	電信送金 (Telegraphic Transfer)
通貨 (Currency)	日本円 (Japanese Yen)
支払方法 (Method of payment)	通知払 (Advise and pay)
円為替手数料 (Yen exchange charge)	依頼人負担 (Remitter's Account)
被仕向送金手数料 (Remittance charge)	依頼人負担 (Remitter's Account)
送金目的 (Purpose of payment)	入学検定料 (Screening Fee)

<送金先情報>

銀行名 Paying Bank	三井住友銀行 SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
支店名 Branch	神田支店 KANDA Branch
銀行住所 Bank Address	東京都千代田区神田小川町3-12 3-12 Kanda Ogawamachi, Chiyoda-ku,Tokyo,Japan
受取人口座番号 Payee's a/c No.	店番号 219 普通預金 147151 Ordinary Account 219-147151
受取人 Payee	明治大学 Meiji University
受取人住所 Address	東京都千代田区神田駿河台1-1 1-1 Kanda Surugadai, Chiyoda-ku,Tokyo,Japan
スウィフトコード Swift Code	SMBCJPT

※仕向先銀行（受取人取引銀行）宛の連絡事項欄に、必ず「**PAY IN FULL**」と記入してください。

※送金人（Remitter）については、以下の点に注意して記入してください。

- 志願者本人の場合...パスポートの記載と同じアルファベット氏名を記入してください。
- 志願者本人でない場合...連絡事項（Message）に志願者のアルファベット氏名（パスポートの記載と同じ）を記入してください。

| 入学手続

- ◆ 合格者への入学手続書類の郵送は行いません。入学手続及び入学諸費用の納入方法については、合格者へ案内する「入学手続の手引」を確認してください。手引は2月頃までに明治大学入試総合サイト (<https://www.meiji.ac.jp/exam/index.html>) に掲載予定です。UCAROからご案内しますので、メッセージ等の通知を受け取れるよう各自設定ください。**入学手続書類の不着及び遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。**
- ◆ 入学手続締切日は、**2026年3月10日（火）**〔消印有効（日本国内）〕の予定です。
- ◆ 入学手続は、一括納入手続のみです。（入学金のみ納入し他の入学諸費用を延納することはできません。）
- ◆ 入学手続期間経過後の入学手続は、一切認めません。
- ◆ いったん提出された書類は、いかなる理由があっても返還しません。
- ◆ 入学手続時に用意する書類は次のとおりです。
 - ① 住民票（手続き日から3カ月以内に発行されたもの）
 - ② 卒業（学位取得）証明書、成績証明書（卒業見込みで出願の方のみ、卒業後、発行でき次第提出ください。）
 - ③ その他必要な書類については、合格者に交付する「入学手続の手引」を確認してください。
- ◆ 出願時には保証人は必要ありませんが、合格後、入学手続の際には保証人が必要です。保証人は、以下の優先順位により届け出てください。在留資格が「留学」の方を保証人に選定することはできません。
 - ① 日本に居住する父母のいずれか一名
 - ② 父母以外の日本に居住し独立の生計を営む親族
 - ③ 上記①②の要件に合った保証人が選定できない場合のみ、日本に居住し独立の生計を営む成年者であり、学生の指導・支援を行うことのできる者

| ビザ（査証）

◆ 受験ビザ取得について

1. 「受験許可証」の発行を希望する者は、「入学志願書（外国籍用）」の「受験許可証」の欄の「要」とわかるように記入し、「入学志願票（A票）」と「入学志願書（外国籍用）」と同一の写真をもう1枚（縦4cm×横3cm）（計3枚必要です）を用意し、出願書類と一緒に送付してください。写真裏面には、志望研究科名と氏名を記入してください。
2. 「出入国管理及び難民認定法」により、一般旅券所持者に対する相互査証免除国に制定されている等で、受験ビザの取得が不要な方に対しては、申し込みがあったとしても「受験許可証」の発行はいたしません。

ビザ（査証）免除国は、外務省ウェブサイトからご確認ください。

- 明治大学から交付された「受験許可証」により在外日本国公館（大使館・領事館）でビザ申請手続きを行っても必ず許可されるとは限りません。
- ビザの取得や入国に関する手続きは、受験生が個人の責任で行う必要があります。

次ページへつづく

ビザ（査証）

◆ 留学ビザ取得について

① 日本国に在留する在留資格を有している場合

ア「留学」ビザを有している者

- ✓ 在留資格更新許可申請は、在留期間が満了する3カ月前から可能です。ただし、在留資格に該当する活動を行うことなく3カ月以上滞在すると、在留資格取り消しの対象となりますのでご注意ください。また、「留学」ビザの在留期間が入学後残っている場合にも、所属する学校に変更があった場合は、変更後14日以内に入国管理局へ「活動機関に関する届出」を提出することが義務付けられています。

イ「留学」以外のビザで日本に滞在していて、「留学」ビザ取得を希望する者

- ✓ 在留資格変更申請をしてください。入学手続き時に、理工学部事務室より「入学許可証」を発行します。この証明書を使用し、日本国内で「留学」ビザに変更してください。ただし、「短期滞在」のビザで日本に入国している者は、原則として日本国内で在留資格の変更が認められていないため、一度日本国外へ出国し、「留学」のためのビザを取得しなければならなくなることもあります。
- ✓ 本学入学前に、日本において日本語教育施設または専修学校（日本語学校、大学・短期大学の日本語別科、その他各種専門学校等）に在籍している者は、在留期間更新・資格変更申請の際に、法務省入国管理局から、在籍していた教育機関が交付する出席状況証明書の提出を求められます。在籍状況に問題がある場合は、不許可となることがあります。

② 日本国に在留する在留資格を有していない場合

本国の日本大使館または領事館にて「留学」ビザ発給の申請を行ってください。あらかじめ本人または代理人が、法務省東京入国管理局で「在留資格認定証明書」を取得し、これを使用して「留学」ビザ発給の申請を行うと、審査が円滑に行われるとされています。

日本に親族や経費支弁者または奨学金支給者がいる場合は、法務省東京入国管理局に「在留資格認定証明書」交付の代理申請を依頼してください。代理申請を明治大学が行うことを希望する者は、入学手続き時に必要書類を提出してください。

- ビザ取得のための審査は法務省が行うため、不許可となった場合、大学は一切責任を負いません。
- ビザ取得を理由として来日が遅れた場合でも、授業等の特別措置はありません。
- 外国人留学生を対象とする授業料補助及び大部分の各種奨学金は、在留資格「留学」の者を対象としています。
- 在留資格認定証明書交付可否は法務省東京入国管理局の判断により、交付審査には長期間を要します。Ⅱ期を受験して合格した場合、授業開始までに在留資格認定証明書・来日のためのビザを取得できない可能性があります。

| 入学金・学費

入学諸費用及び入学後の学費等の詳細については、明治大学ホームページをご参照ください。
2026年度入学者の学費等一覧は、4月下旬に公開予定です。

入学金・学費ウェブサイト <https://www.meiji.ac.jp/suito/gakuhi.html>



| 奨学金

日本学生支援機構奨学金と明治大学独自の奨学金の詳細については、本学ウェブサイトおよび同ウェブサイトで公開している「ASSIST」に記載しています。奨学金を希望する人は確認してください。

外国人留学生の奨学金は国際教育事務室（03-3296-4141）で扱っています。詳細は、3月下旬実施予定の外国人留学生オリエンテーションにて説明します。実施日等の詳細については、入学手續完了者に通知されるオリエンテーションの案内を確認してください。

奨学金ウェブサイト https://www.meiji.ac.jp/campus/shougaku/inshintop_index.html



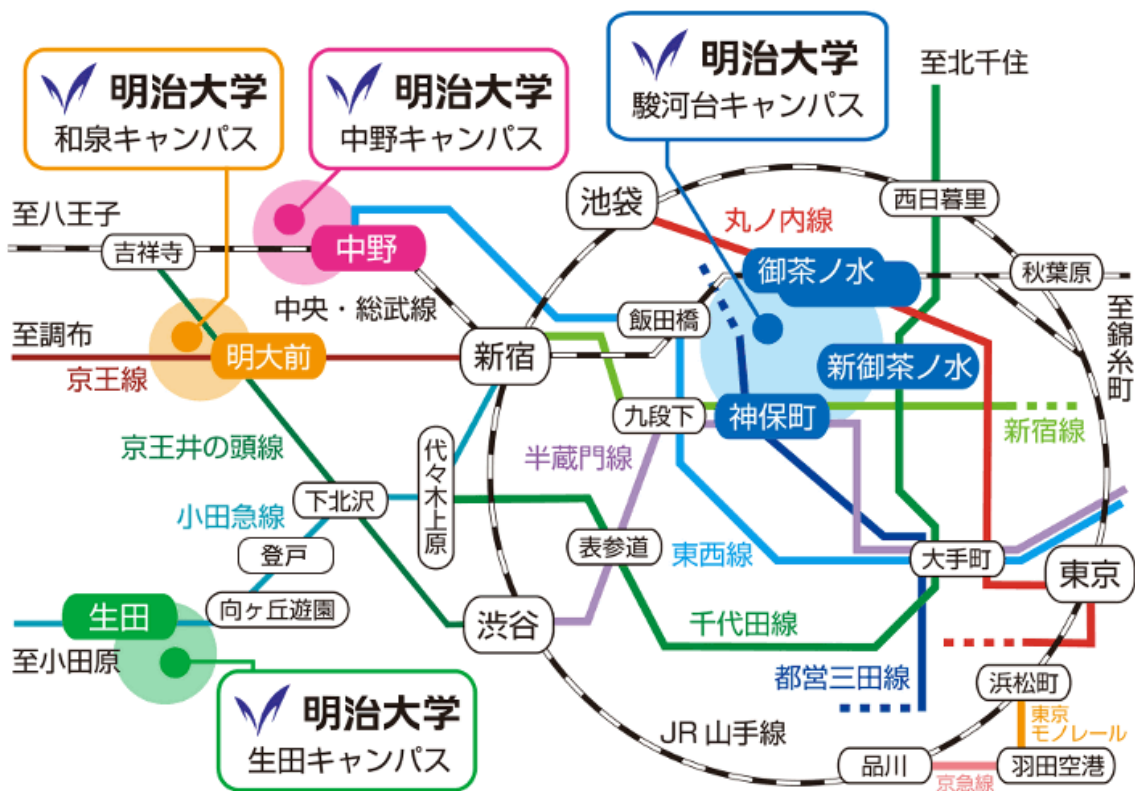
| 明治大学教育振興協力資金

本学では、全学部学生・大学院生のご父母（一部学生本人）の皆様、「[明治大学教育振興協力資金](#)」へのご協力をお願いしております（一部の方を除く）。

頂戴しました寄付金は、本学の教育・研究の充実と発展に必要な資金として活用いたします。

この寄付金は任意でございますが、ご子息・ご息女の教育・研究環境のさらなる充実に活用させていただきますので、ご協力くださるようお願い申し上げます。

1



生田キャンパス

電気工学専攻、機械工学専攻、建築・都市学専攻建築学系、応用化学専攻、情報科学専攻、
数学専攻、物理学専攻

⇒生田キャンパス アクセスマップはこちらから

駿河台キャンパス

建築・都市学専攻国際建築・都市デザイン系

⇒駿河台キャンパスアクセスマップはこちらから

中野キャンパス

建築・都市学専攻総合芸術系※

※総合芸術系の一部科目は、生田キャンパスで開講される場合があります。

⇒[中野キャンパスアクセスマップ](#)はこちらから